

「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008」に関する調査

アンケート項目

1. 記入年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
2. 病医院名： _____
3. 記入医師名： _____

4. 貴病医院の現在の周産期診療内容は、以下の何れに該当しますか。

回答	07年 (発刊前)	08年 (発刊半年後)	09年 (発刊1.5年後)
①分娩を扱っている	48	45(1)	46(1)
②分娩を扱っていないが、 妊婦健診は行っている。	17	15(1)	14
③婦人科診療のみで、妊婦 は全く見ていない。	24	3	1
④その他	7		

* () は、その年の新規開業施設数。2008年は2施設、2009年は1施設が新規開業。

5. 貴病医院の周産期診療レベルは、以下の何れに該当しますか。

回答	07年 (発刊前)	08年 (発刊半年後)	09年 (発刊1.5年後)
①1次施設（妊娠35週未満の分娩が予想 される場合は、原則紹介・搬送している）	39	37	38
②2次施設（妊娠30週未満の分娩が予想 される場合は、原則紹介・搬送している）	7	6	5
③3次施設 (ほぼすべての分娩を扱っている)	2	2	3

* 問4で、①と答えた分娩取り扱い施設のみの集計です。

6. 2008年4月に「産婦人科診療ガイドライン—産科編」が発刊されることを知っていましたか。*発刊前(2007年11月)のみの質問項目

- 1) はい …… 45施設
- 2) いいえ …… 20施設

*発刊前調査の間4で、①或は②と答えた65施設の集計です。

7. 2008年4月に「産婦人科診療ガイドライン—産科編」が発刊されたことを知っていましたか。*発刊半年後(2008年10月)のみの質問項目

- 1) はい …… 57施設
- 2) いいえ …… 3施設

*発刊半年後調査の間4で、①或は②と答えた60施設の集計です。

8. 回答者ご自身が、「産婦人科診療ガイドライン—産科編」を持っておられますか？

*発刊1.5年後(2009年10月)のみの質問項目

- 1) はい。持っています。… 53施設
- 2) いいえ。発刊された事を知っていますが、持っていません。… 5施設
- 3) いいえ。発刊された事を知りませんでした。… 3施設

*発刊1.5年後調査の間4で、①或は②と答えた61施設の集計です。

9. ガイドラインの扱い方について、お答えください。

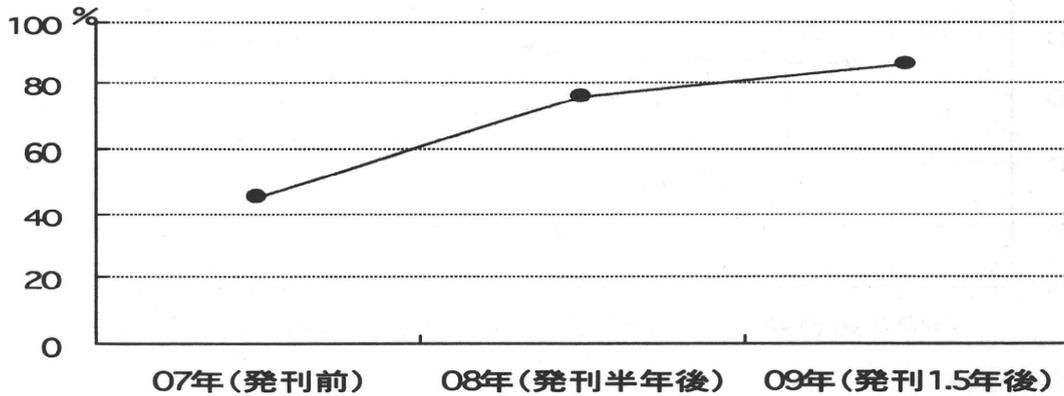
- 1) Answerと解説とも、全てのClinical Question(CQ)を読んだ。… 19施設
- 2) Answerのみ、すべてのCQについて読んだ。… 8施設
- 3) 一部読んだ(全体の30%以上のAnswer)。… 23施設
- 4) 一部読んだ(全体の30%以下のAnswer)。… 3施設
- 5) 全く読んでいない。… 5施設

*発刊1.5年後調査の間4で、①或は②と答えた61施設の集計です。

1. 妊娠中投与された薬物の胎児への影響について、相談頻度の高い薬物については国立成育医療センター「妊娠と薬情報センター」へ妊婦自身が直接電話相談できるようになったことを知っていますか。

1) 知っている。

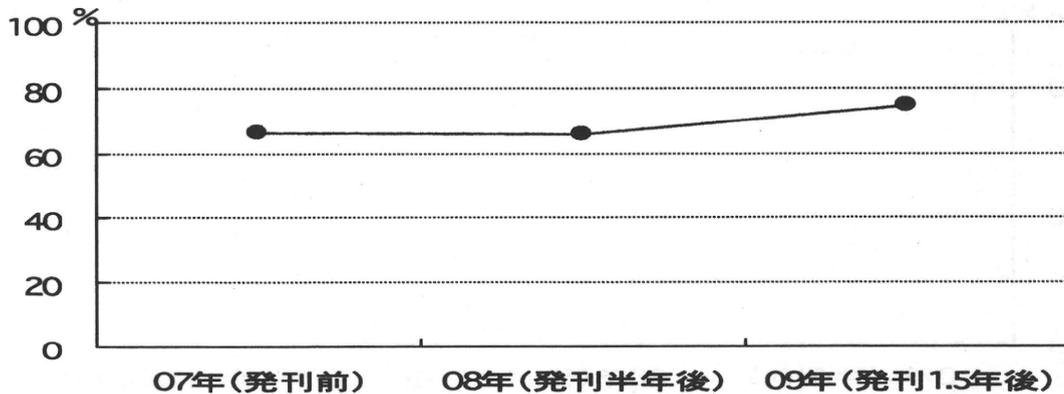
2) 知らなかった。 「知っている」の回答率



2. 妊娠12週未満の人工妊娠中絶時にRh型の術前検査を行っていますか。

1) はい

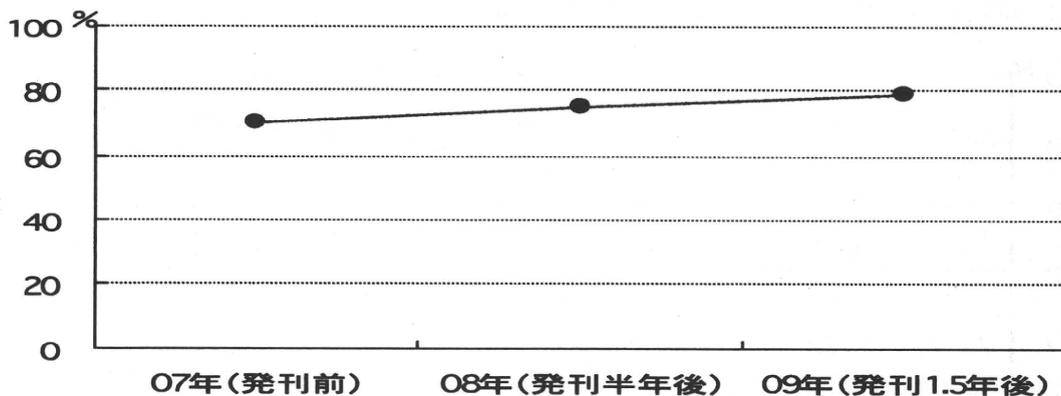
2) いいえ 「はい」の回答率



3. 妊娠 12 週未満の人工妊娠中絶実施直後（退院・帰宅まで）に経膈超音波により子宮腔内遺残について確認していますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

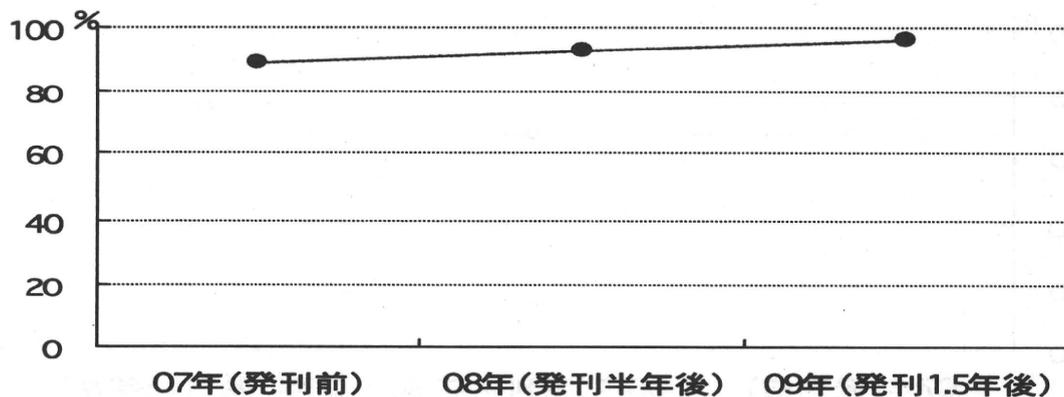
「はい」の回答率



4. 妊娠 12 週未満の人工妊娠中絶術終了 1 週間後に経膈超音波により子宮腔内遺残について確認していますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

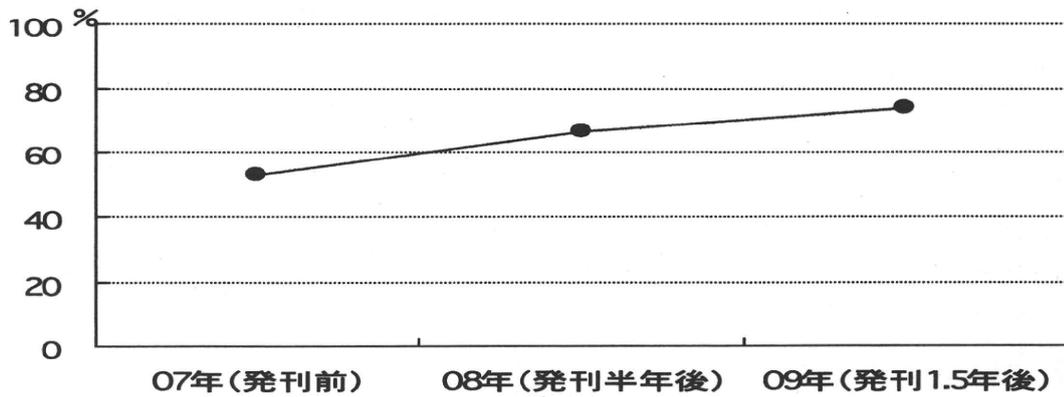
「はい」の回答率



5. Rh(D)陰性妊婦に対して、インフォームドコンセント後、妊娠 28 週前後に母体感作予防目的で抗 D 免疫グロブリンを投与していますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

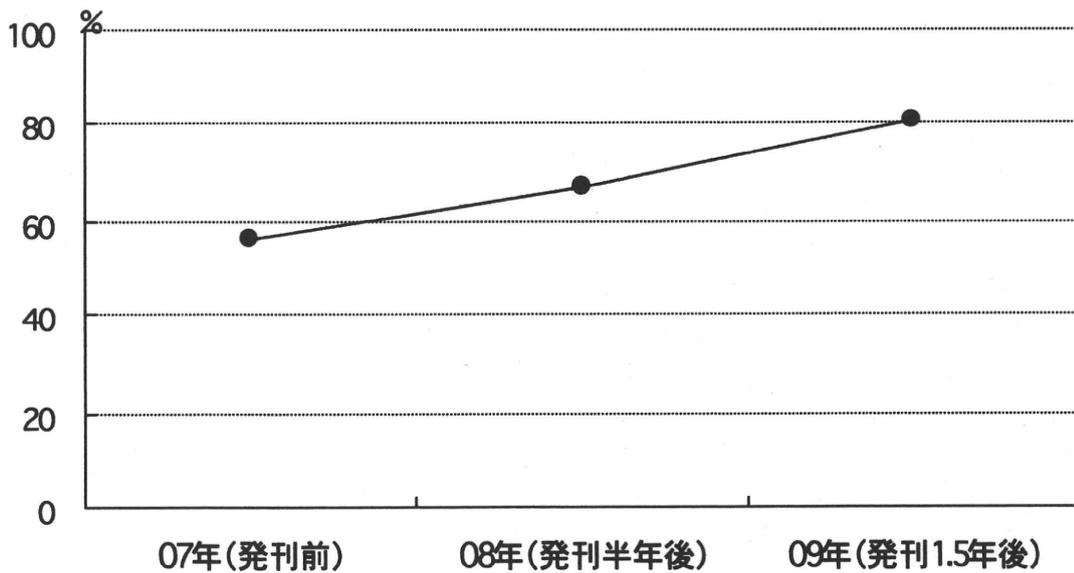
「はい」の回答率



6. 妊娠糖尿病(GDM)スクリーニングを全妊婦に行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

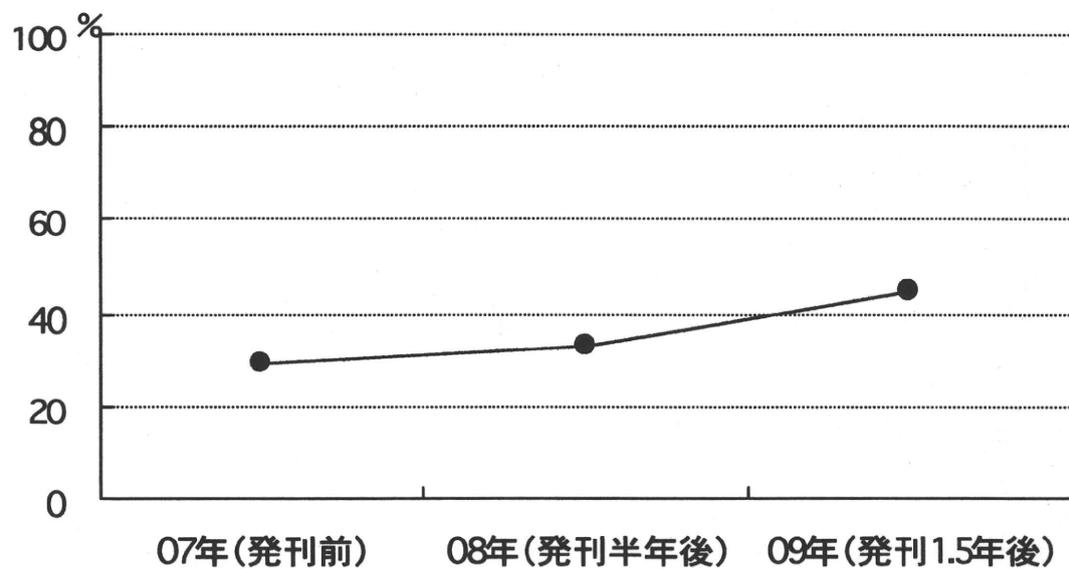
「はい」の回答率



7. GDM 高リスク妊婦に対して、最初から診断検査を行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ、最初にスクリーニング検査を行っている。
- 3) いいえ、スクリーニング検査も診断検査も行っていない。

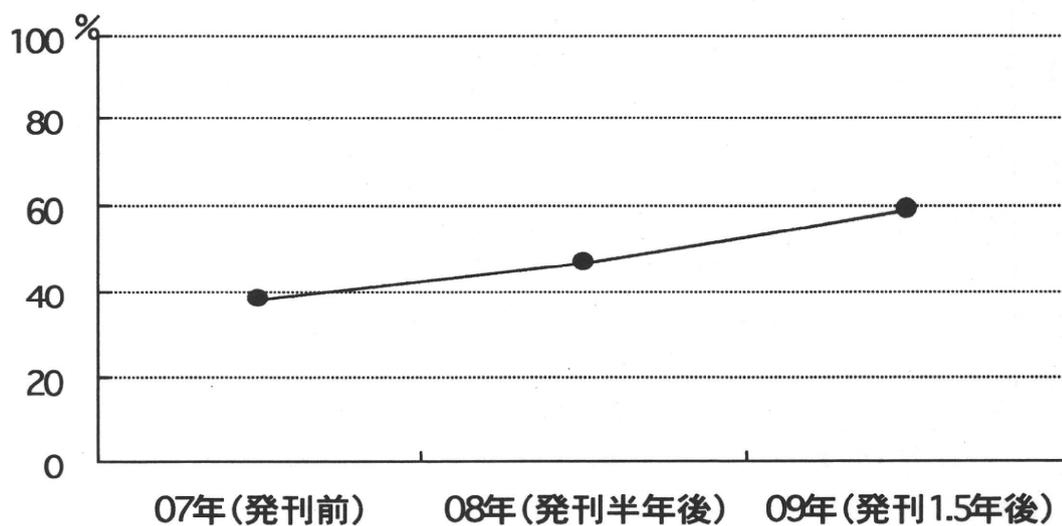
* 「はい」の回答率：最初から診断検査の実施率



8. (上記設問6で「はい」と答えた病医院への設問) GDMスクリーニングに初期と中期に2回行う二段階法を取り入れていますか。

- 1) はい
- 2) 初期のみ行っている。
- 3) 中期のみ行っている。
- 4) その他 ()

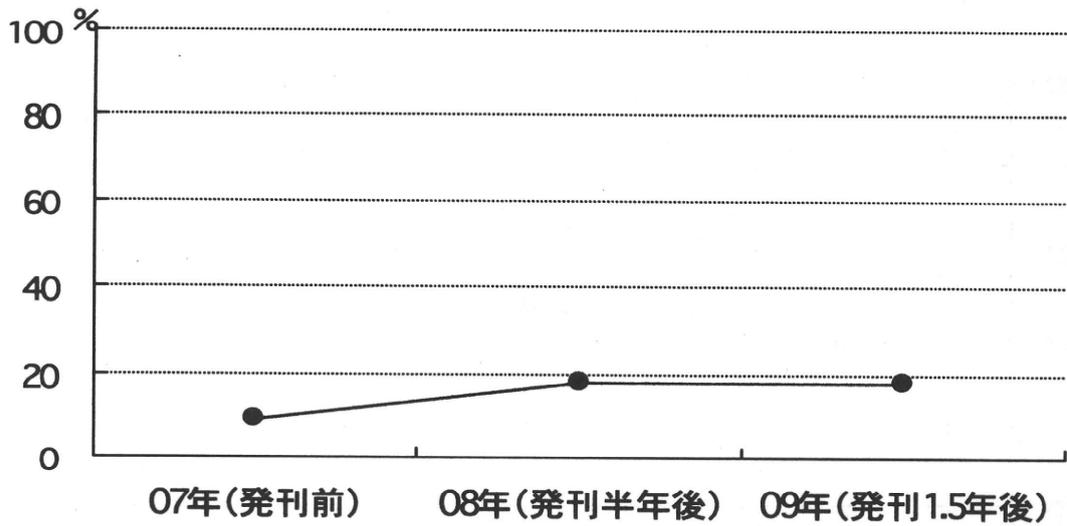
* 「はい」の回答率：二段階法の実施率



9. (上記設問8で「はい」と答えた病医院への設問) 妊娠初期の随時血糖のカットオフ値は、以下の何れを採用していますか。

- 1) 95mg/dl 以上
- 2) 100mg/dl 以上
- 3) その他 ()

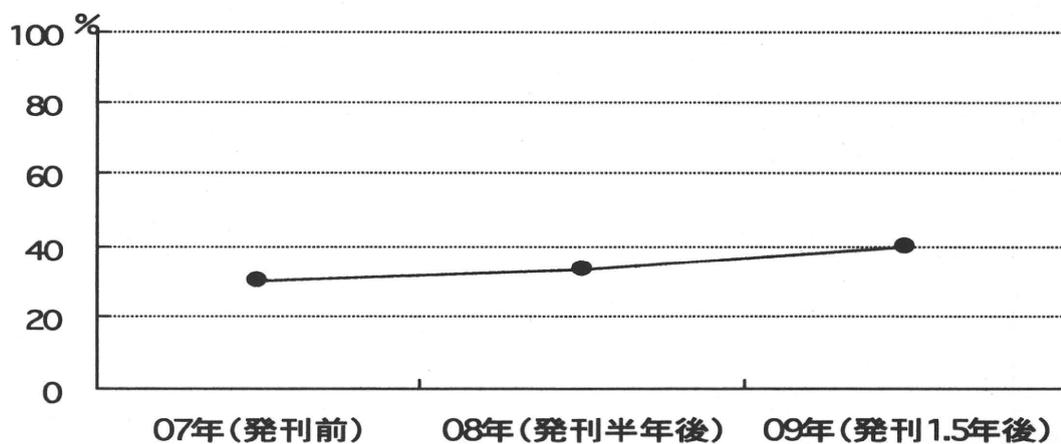
*1)の回答率：初期の随時血糖のカットオフが 95mg/dl 以上



10. (上記設問8で「はい」と答えた病医院への設問) 妊娠中期のスクリーニングに、次のどれを採用していますか。

- 1) 随時血糖で、カットオフ値 100mg/dl 以上
- 2) 随時血糖で、カットオフ値 105mg/dl 以上
- 3) 50gGCT で、カットオフ値 140mg/dl 以上
- 4) その他 ()

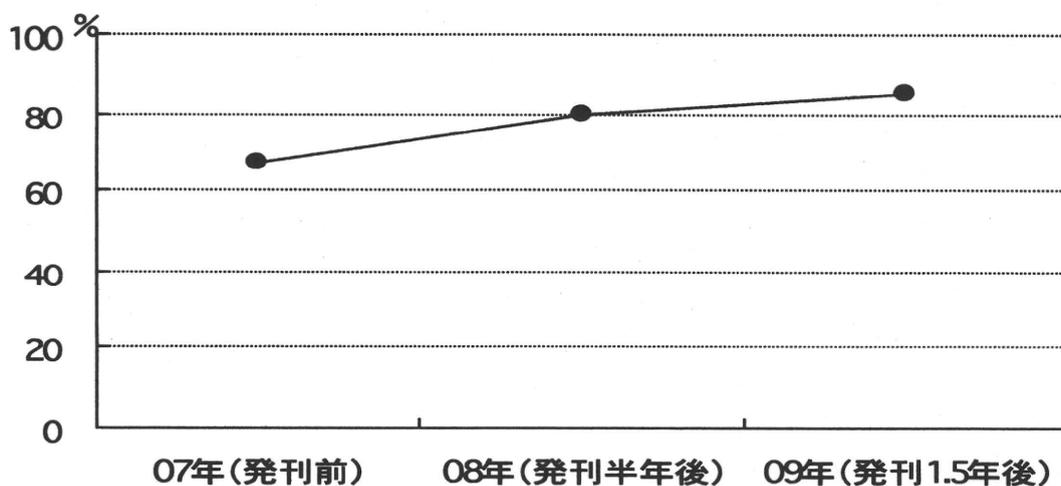
* 3)の回答率：50gGCT の実施率



11. GDM 妊婦には、産褥 6～12 週に 75gOGTT を勧めていますか。

- 1) はい、ほぼ全例に勧めている。
- 2) はい、自分で（内科に廻すのではなく）実施している。
- 3) はい、勧めているが不完全。
- 4) いいえ、勧めていない。
- 5) 内科管理のため詳細不明。
- 6) 不明

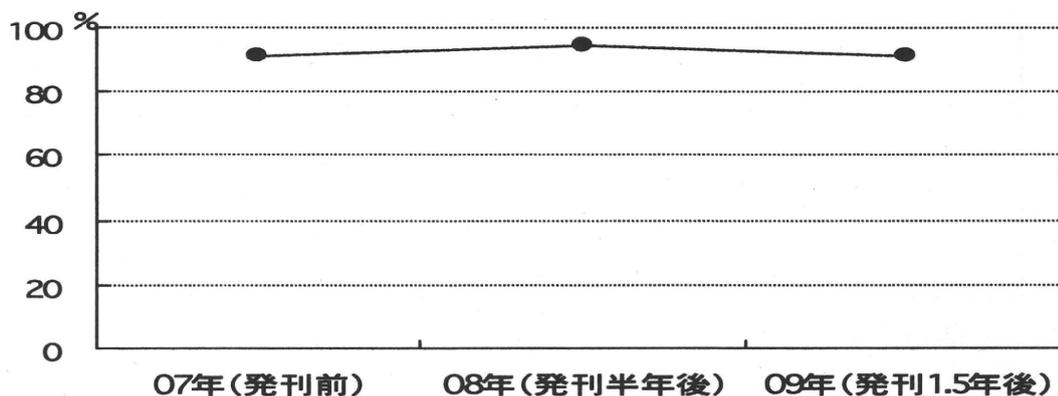
* 1) 2) 3) 5) の回答率：いずれかの形で産褥の 75 g OGTT を勧めている率



12. 妊娠初期に、HI法で風疹抗体価測定を行っていますか。

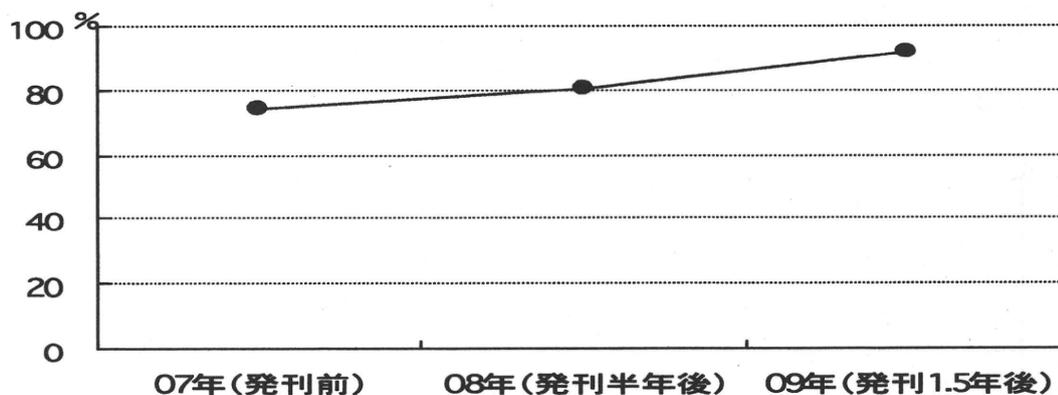
- 1) HI法で風疹抗体価測定を行っている。
- 2) HI法以外の方法で風疹抗体価測定を行っている。
- 3) 風疹抗体価測定を行っていない。

* 1) の回答率：「HI法の実施率」



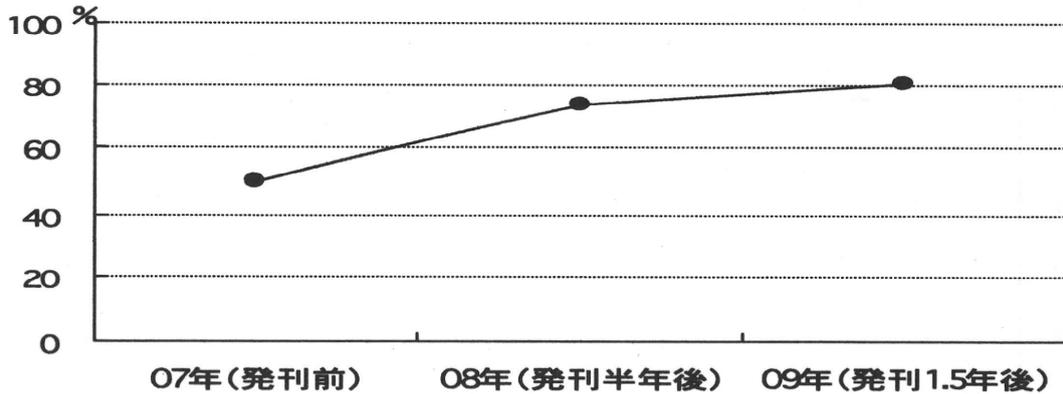
13. (上記設問 12 で「HI法で風疹抗体価測定を行っている」と答えた病医院への設問) 風疹 HI 抗体価が 16 倍以下の妊婦には、産褥早期の風疹ワクチン接種を勧めていますか。

- 1) はい
 - 2) いいえ
- 「はい」の回答率



14. HCV-RNA 陽性でしかも RNA 量高値の妊婦に対して予定帝王切開により母児感染を減少させる可能性のあることを知っていますか。

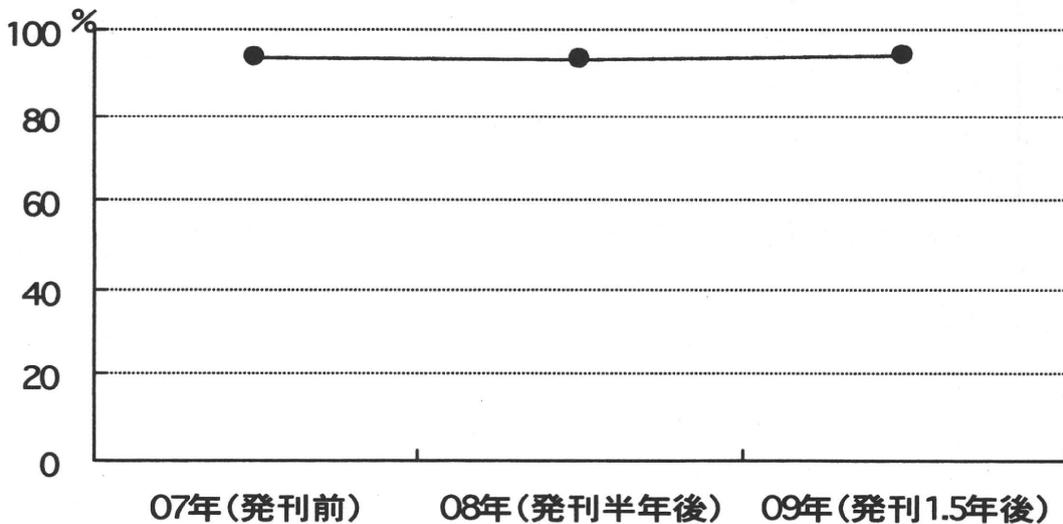
- 1) 知っている。
- 2) 知らなかった。 「知っている」の回答率



15. 全妊婦に対して、妊娠 33~37 週に膣周辺の B 群溶血性レンサ球菌(GBS)の培養検査を行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ、経膣分娩予定の妊婦のみに行っている。
- 3) いいえ、全妊婦には行っていない。
- 4) 該当しない(分娩を扱っていないので)

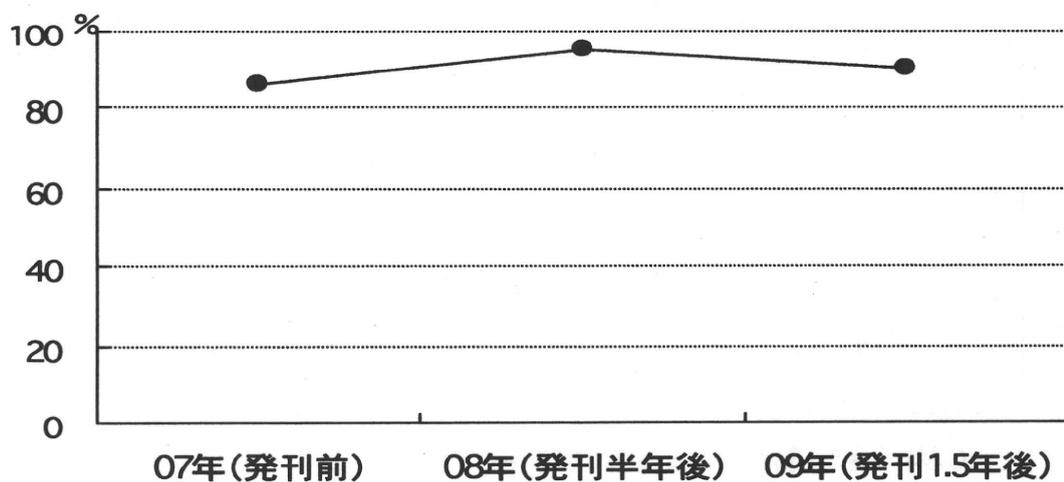
* 1) 2) の回答率



16. (上記設問 15 で「はい」または「経膣分娩予定の妊婦のみ」と答えた病医院への設問)
GBS 陽性妊婦に対して、経膣分娩中、どのような治療を行っていますか (複数選択可)

- 1) アンピシリン 1日 4g 以下点滴静注
 - 2) アンピシリン 1日 4g 以下静注
 - 3) アンピシリン 初回 2g 静注、以後 4 時間毎 1g を分娩まで静注
- その他 ()

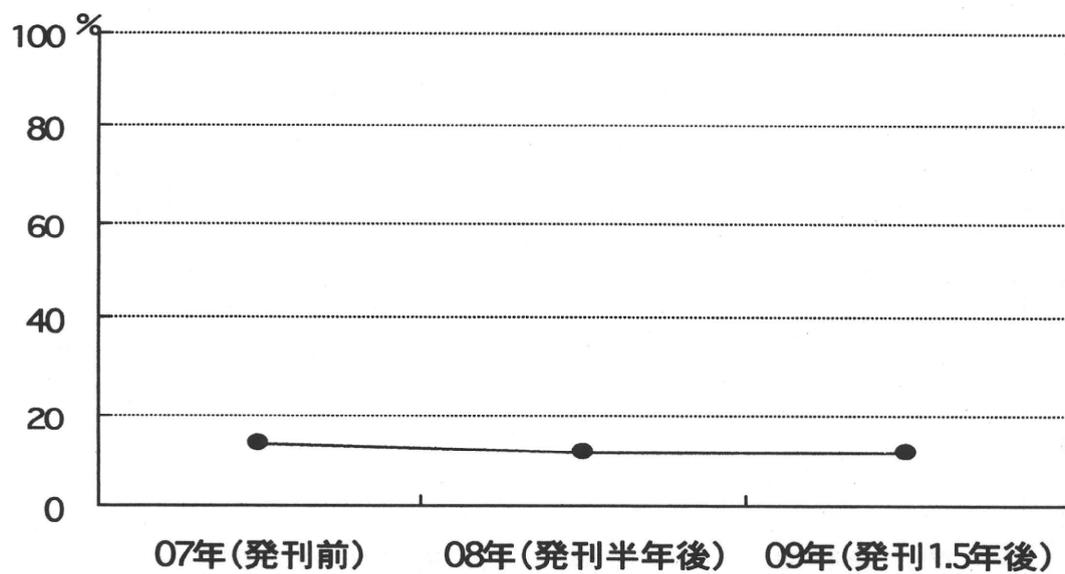
* 1) 2) 3) の回答率



17. 骨盤位経膈分娩を行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 該当しない（分娩を扱っていないので）

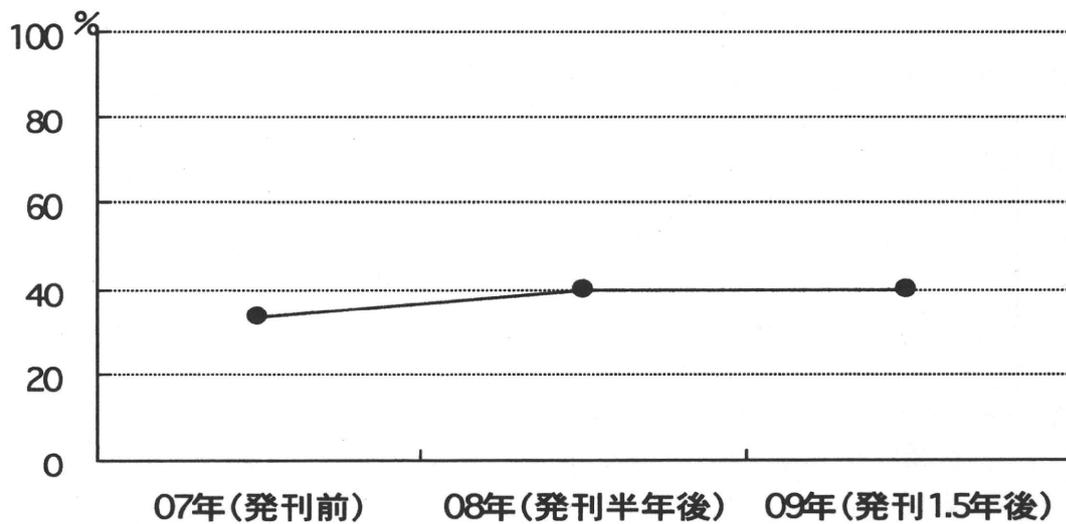
* 1) の回答率



18. (上記設問 17 で「はい」と答えた病医院への設問) 骨盤位経膈分娩を行う場合、文書による同意を取っていますか。

- 1) はい
- 2) 口頭での承諾のみ
- 3) インフォームドコンセントを行っていない。

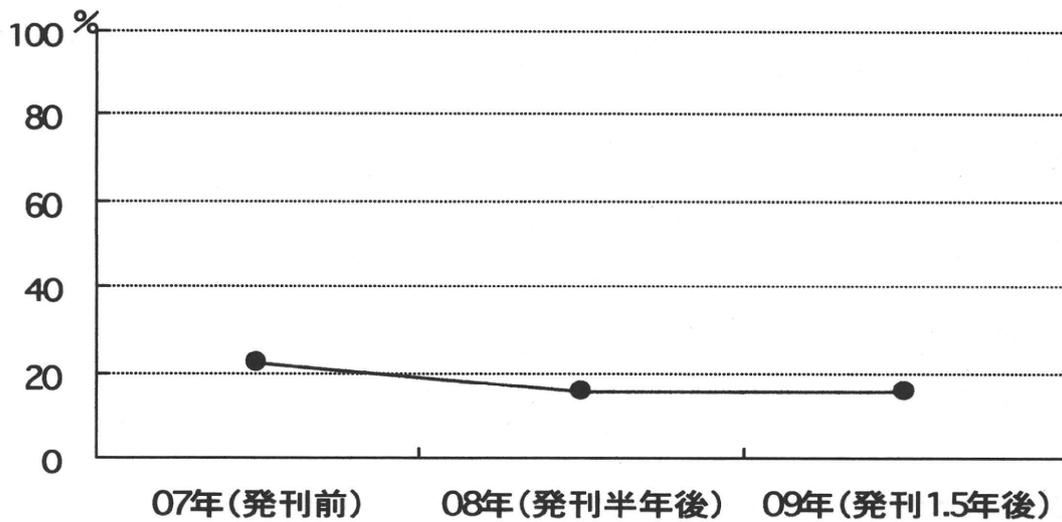
1) の回答率：文書による同意率



19. 帝王切開既往妊婦が経膣分娩を希望した場合、経膣分娩を行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 該当しない（分娩を扱っていないので）

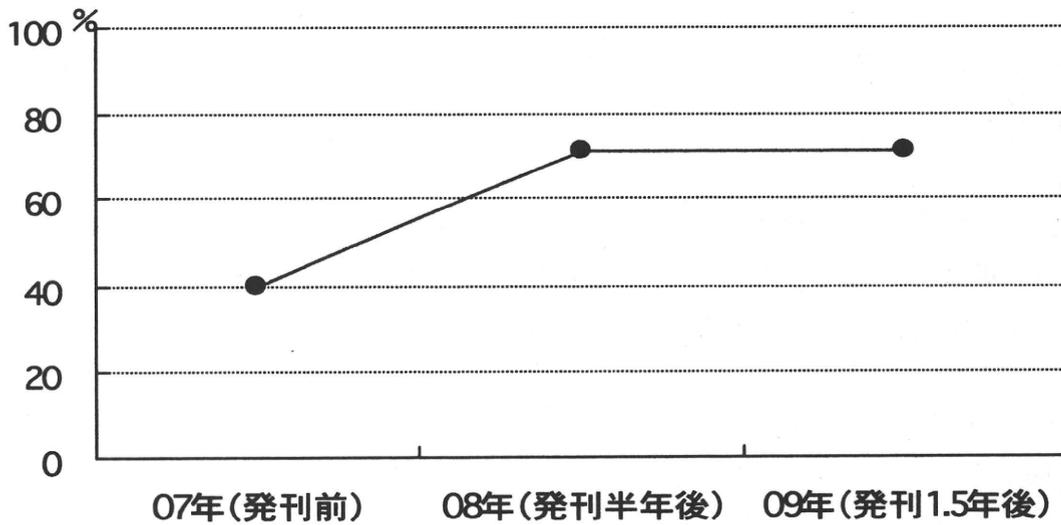
* 1) の回答率



20. (上記設問 19 で「はい」と答えた病医院への設問) 帝王切開既往妊婦の経膈分娩を行う場合、文書による同意を取っていますか。

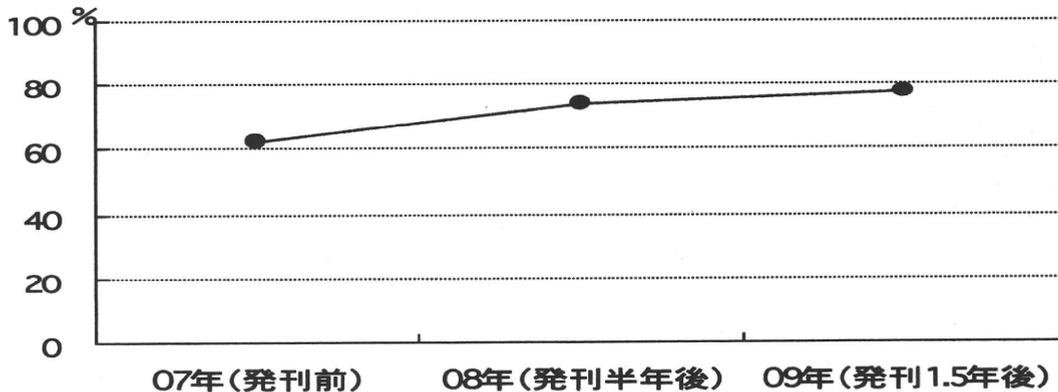
- 1) はい
- 2) 口頭での承諾のみ取っている。
- 3) インフォームドコンセントを行っていない。

1) の回答率：文書による同意率



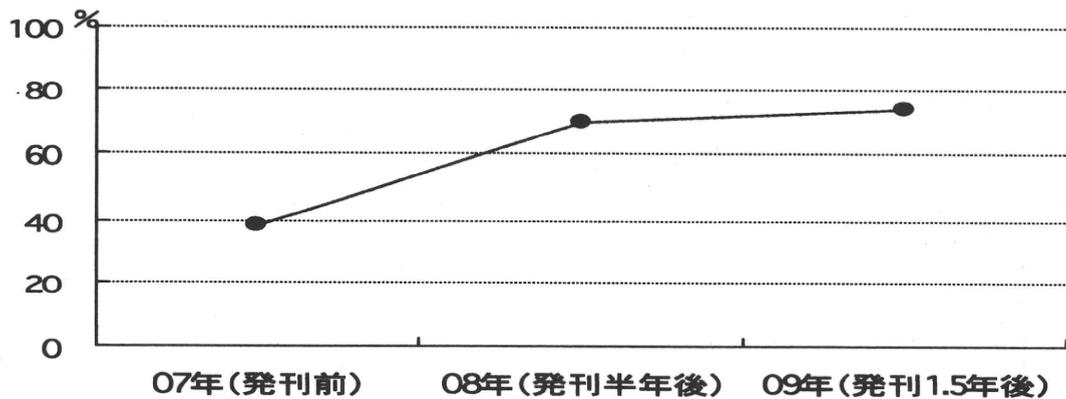
21. 子宮内胎児発育遅延(IUGR)診断には、出生時体重基準曲線(小川ら)ではなく、胎児体重基準値(日本超音波医学会公示および日本産科婦人科学会周産期委員会報告)を用いていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ 「はい」の回答率



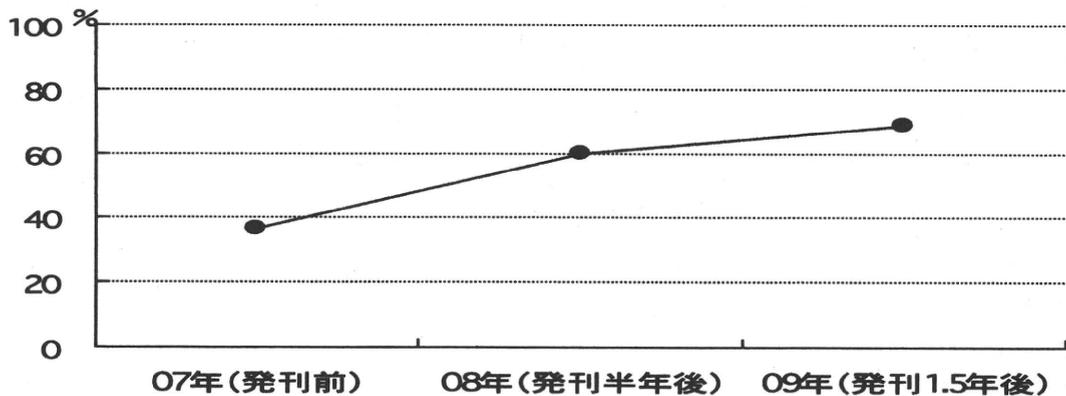
22 婦・産褥婦に対して、未分画ヘパリン投与時には HIT (heparin-induced thrombocytopenia) が発生する可能性があることを知っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ 「はい」の回答率



23 妊・産褥婦に対して、未分画ヘパリン投与時には HIT のチェックのため、投与開始 5 日～7 日目頃に血小板測定を行っていますか。

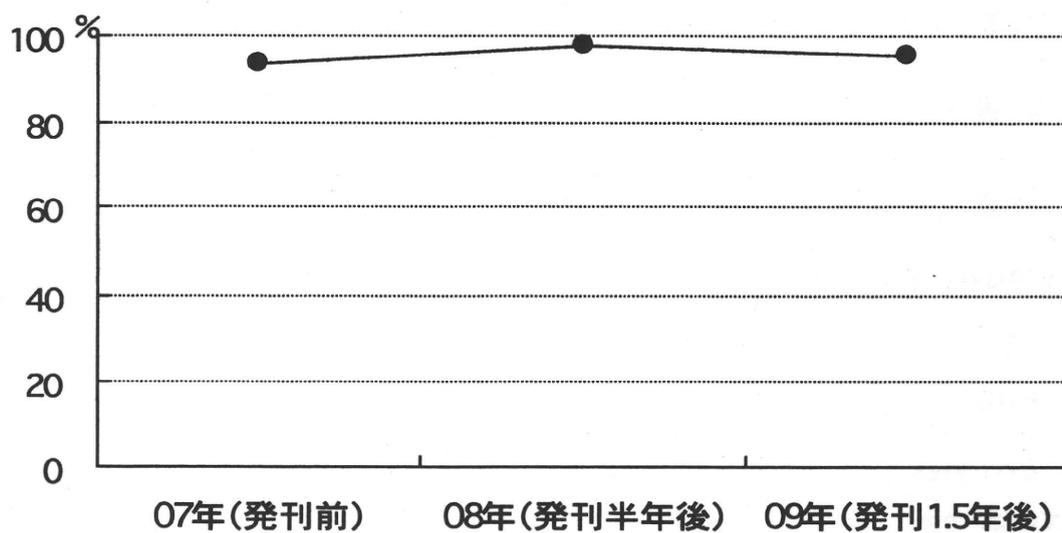
- 1) はい
- 2) いいえ 「はい」の回答率



24. 微弱陣痛が原因と考えられる遷延分娩に対して、薬剤による陣痛促進を行う場合はインフォームドコンセントを行っていますか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 該当しない（分娩を扱っていないので）

* 「はい」の回答率



25. 誘発分娩（誘導）を開始する週数は、以下の何れですか。

- 1) 41 週
- 2) 42 週
- 3) 誘発分娩は行わない
- 4) その他 ()
- 5) 該当しない (分娩を扱っていないので)

回答	07 年(発刊前)	08 年(発刊半年後)	09 年(発刊 1.5 年後)
41 週	40	39	38
42 週	1	2	2
誘発分娩は行わ ない	1	0	0
その他	3	3	4
該当しない(分娩を 扱っていないので)	12	13	13